

株式会社 京都銀行

京都市下京区烏丸通松原上る
郵便番号600-8652

鉄道建設・運輸施設整備支援機構が発行する

「サステナビリティボンド」への投資について



京都銀行（頭取 土井 伸宏）は、独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構が発行するサステナビリティボンドへの投資を実施しましたのでお知らせいたします。

サステナビリティボンドは、サステナビリティファイナンスの一つで、環境（グリーン）性と社会（ソーシャル）性の両方への貢献を目的とした、債券発行による資金調達手段です。

独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構は、サステナビリティファイナンスのフレームワークについて、国際的な第三者評価機関である DNV GL^{※1}の検証および評価を受けるとともに、気候債券イニシアチブ（CBI）^{※2}からも認証を取得しています。

本債券発行による調達資金は、環境負荷の低減や地域の生活に必要な交通インフラの整備等に充当されます。これらの事業は、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献するものです。

当行では、今後もこのような事業活動を通じて環境・社会・経済の課題解決に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

※1. DNV GL…ノルウェーのオスロに本部を置く第三者評価機関

※2. 気候債券イニシアチブ…CBI (Climate Bonds Initiative)。低炭素経済に向けた大規模投資を促進する国際 NGO

記

＜本債券の概要＞

銘 柄	第146回 鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券（サステナビリティボンド）
年 限	10年
発行額	100億円
発行日	2021年5月28日
充当事業	鉄道建設プロジェクト 環境負荷の低減や地域の生活に必要な不可欠な交通インフラの整備 等 [グリーン性：CO ₂ 排出量が少ないなど環境負荷低減に資する鉄道の建設 等 ソーシャル性：多くの人が利用できる鉄道の建設 等]

以上

京都銀行グループでは、従来から「地域社会の繁栄に奉仕する」という経営理念に基づいた企業活動を行ってまいりました。今後も経営理念のより一層高いレベルでの実践である SDGs 達成に向け、地域の社会課題の解決に貢献してまいります。

【SDGs】2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての2030年までの世界共通目標。17のゴールと169のターゲットで構成されている。

